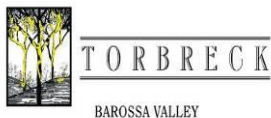


TORBRECK

トルブレック

不動の高得点！オーストラリア最高の造り手、トルブレック



パーカーポイント不動の高得点で多方面から注目を集めるオーストラリア最高の造り手トルブレック。創立者デイヴィッド・パウエルにより1994年に設立されました。設立のきっかけは、1992年に当時ロックフォードで働いていたデイヴィッド・パウエルが乾地農法で育つ古いブドウ畑を見出し、手入れをし始めたことに端を発します。見つけた当時は殆ど枯れかけていた古樹を見事に生き返らせ、荒廃した古いシラーズの古樹から、最高の果実を収穫することに成功しました。



トルブレックは、南仏ローヌのワインにインスピレーションを受け、世界有数の樹齢の古いブドウが育つバロッサヴァレーでシラーズ、グルナッシュ、ムールヴェードルなどのローヌ品種から最高のワインを生み出す世界トップクラスのワイナリーです。トルブレックのブドウは、樹齢150年を超えるものもあり、世界最古のレベルです。これらのブドウは、フィロキセラ禍を免れ、1980年代初頭の減反政策を生き延びてきたものです。古樹は驚くほど低収量で、樹齢の若い畑も極力収量を抑えるため、どのワインも非常に深みのある色合いを湛え、濃厚で凝縮感のある複雑な味わいに仕上がります。

2008年より、トルブレックは、新オーナーのピート・ナイトの下、醸造所を最新設備に一新し、生産ラインを瓶詰まで一貫して管理することにより、トルブレックの新たなスタンダードを築いています。オーナーのピートは、アメリカとオーストラリア双方のワインに深い造詣があり、これまでの品質を維持すると共に、これまでのトルブレックを超えるワインを作ることには意欲を見せています。2014年には、単一畑のザ・レアドでパーカーポイント100点を獲得し、躍進を続けています。2017ヴィンテージからは、バロッサの土壌とブドウに深い造詣を持つ醸造家イアン・ホンゲルを新たな醸造責任者に迎えています。イアンは、トルブレックに上質なシラーズを長年供給し続けてきたブドウ農家に生まれ、大学で醸造学を修めた後、ドイツ、フランス、カリフォルニア、バロッサでワイン造りの腕を磨き、バロッサ・ワイン・ショーの委員長やオーストラリアワインの品評会ナショナル・ワイン・サーキットで常任審査員を勤めるなど目覚ましい活躍を見せています。



【写真右：醸造責任者イアン・ホンゲル】

■2013ヴィンテージ情報■ 2013年は、バロッサ史上最も乾燥し、最も早く収穫を迎え、最も短期間のうちに収穫を終えた年として記憶に残るでしょう。春の降雨は例年の平均以下で、開花時期はやや天候が不安定となり、これが夏の着果を減らし、収量減に繋がりました。2012年10月から11月にかけて35℃を上回る猛暑に何度も見舞われ、2月12日～18日に再び33℃を超える熱波が到来したため、収穫量が減り、糖度が上がりました。収穫は前年より1ヶ月ほど早く訪れ、殆どの畑で3月末までに収穫作業を終え、記録に残る最も早期の収穫となりました。収穫量は平均を下回りましたが、品質は概して素晴らしく、豊かな色味を湛え、酸とタンニンのバランスが実に絶妙で卓越したワインに仕上がりました。

■2015ヴィンテージ情報■ 前年の2014年が例年よりも雨の多い年だったこと、年明けの1月に豪雨が降ったことで、その後の温暖で乾燥した生育期を乗り切るのに十分な水分量が土壌に蓄えられました。夏は暖かい日中と涼しい夜間の寒暖差がブドウの熟成に理想的な環境をもたらし、素晴らしくフレッシュで良質な酸と見事なバランスを湛えたクオリティの高いブドウが収穫できた最高の年となりました。

■2016ヴィンテージ情報■ 冬は雨の少ない乾燥した天候が続き、1月から3月にかけての雨が恵みの雨となりました。樹齢の古いブドウには特に理想的な穏やかな気候条件に恵まれ、ブドウの熟成がゆっくりと進み、極めて品質の高いブドウが収穫出来た秀逸な年となりました。

■2017ヴィンテージ情報■ 寒冷で雨の多い冬に続いて、この年の春は、記録に残る最も多雨多湿な気候の1つで、土壌の地下深くに十分な水分量が蓄えられ、温暖な夏を前に理想的な環境が整いました。ブドウの着色期は穏やかな天候に恵まれ、1月から2月にかけて小雨が降り続いた後、暖かく乾燥したインディアンサマーが訪れ、ブドウの熟成期を通して4月まで極めて理想的な気候条件に恵まれました。2017年は、鮮やかで香り豊かな白ワインと、しっかりとしたストラクチャーを備えた濃厚な赤ワインが生産された秀逸なヴィンテージとなりました。

■2018ヴィンテージ情報■ 冬は例年の平均を上回る雨量を記録しましたが、春から夏にかけての降雨量は平均以下で、これによりブドウの房も果粒も小さくなったため、収穫量が減りました。しかし収穫されたブドウの品質は非常に高く、トルブレックの主要な赤ワイン品種であるシラーズ、グルナッシュ、マタロ(ムールヴェードル)にとっては特に良年となりました。2018年のワインは、実に印象的で良質な色合い、しっかりとしたストラクチャー、長期熟成ポテンシャルの高さにより記憶に残るヴィンテージとなるでしょう。

■2019ヴィンテージ情報■ 夏の暑く温暖な気候を特徴とする2019年の生育期は、開花の時期に目立った風雨や雹に見舞われることはありませんでしたが、広範囲にわたる霜に3度も立て続けに見舞われたため、通常よりも早く収穫を迎えた低収量の年となりました。このような気候条件により、ブドウは例年よりも小さく凝縮感のある色の濃い実を付け、重厚で肉付きの良い果皮が発達しました。収穫量は落ちたものの、色味、タンニン、アロマの凝縮したクオリティの高いヴィンテージとなりました。

■2020ヴィンテージ情報■ この年は、生育期のはじめの開花の時期に強風に見舞われ、多くの畑で実や房の数が減少しました。冬から春にかけて雨が少なく乾燥し、12月から1月まで非常に暑く乾燥した天候が続きました。2020年は、予想を遥かに下回る低収量の年で、栽培家にとっても醸造家にとっても困難な年となりましたが、地下深くまで根を張る古樹のブドウ畑は、このような条件下においても盤石で、少量ながらも、低収量ゆえの深みと凝縮感のある上質なワインを生産することが出来ました。セミアンとヴィオニエから作るこの年の白ワインは格別で、繊細で上品な風味とアロマが感じられます。2020年ヴィンテージは、低収量ながらも全体的にクオリティが高く、深みのある色味と滑らかなテクスチャーを備えた産地の個性が溢れる上質なワインが作られました。

■2021ヴィンテージ情報■ 2021年は、過去最高の収穫量を記録し、生育期は完璧な天候に恵まれました。夏は、過去10年で最も涼しく、2020年12月は過去3番目に多い雨量を記録しました。全体的に熱波の影響は少なく、適時に雨が降ったことで、理想的な成熟期を迎えることができ、クオリティの高いブドウを得ることができました。

Dry White Wines

2021 Woodcutters RMV (Roussane / Marsanne / Viognier)

上代価格 ¥3,300(税抜)

ウッドカッターズ アール エム ヴィ (ルーサンヌ マルサンヌ ヴィオニエ)

JANコード: 4543190602495

南仏ローヌのスタイルを強く意識したフローラルでピュアなアロマが風味豊かに香り立つエレガントな白ワイン。ルーサンヌが主体となり、ワインにしっかりと骨格と繊細なフィネスを与えると同時に全体をスッキリと引き締め、ヴィオニエがピュアな花のアロマと洗練された後味を生み、マルサンヌが滑らかなテクスチャーと芳醇な味わいを添えています。【※スクリーキャップ仕様】

■テクニカル情報■ 産地: パロッサヴァレー (サブ・リージョン: マラナンガ、エベニーザー)

醸造: 手摘みで収穫・優しく压榨し品種ごとに醸造。ルーサンヌは澱引きしステンレスタンクへ、マルサンヌとヴィオニエは年季の入ったフレンチオークのバリックへ移し、天然酵母で長時間ゆっくり低温発酵させた後、細かな澱と共に6ヶ月熟成。

品種: ルーサンヌ43%、マルサンヌ42%、ヴィオニエ15% Alc:13.5% pH:3.43 酸:5.26g/L 収穫時期:2/17-3/16

★相性料理★ アジアンサラダや牡蠣、生の貝類など。

■コメント■ ライムやハネジューメロンを思わせる魅力的なアロマが香ります。グアバやパッションフルーツ等のトロピカルフルーツと柑橘類の花のアロマが見事に調和しています。しなやかさを備えたミディアムウェイトの味わいで、フレッシュな果実味と高めの酸がバランスよくまとまり、複雑性が感じられ、長い余韻が続きます。セラーでの保管をお勧めします。晴れた午後、魚介料理と合わせてお楽しみください。およそ5年間の熟成が効きます。



2018VT★パーカーポイント 90 点: 炙ったマシュマロの香りが仄かに鼻腔に感じられ、白胡椒やフローラルな花の香りと共に広がる。味わいはミディアム〜フルボディで、微かにオイリーなテクスチャーを湛えたスパイシーな味わい。豊潤でジューシーな後味が垂涎を誘う。実に多彩で万能な白ワインで、若いうちから飲みやすく、極めてコストパフォーマンスの高い逸品である。《飲み頃:2019-2021年 | 2019/3/1 掲載》

2020 Woodcutter's Semillon

上代価格 ¥3,600(税抜)

ウッドカッターズ セミヨン

JANコード: 4543190602853

2022 Woodcutter's Semillon

上代価格 ¥3,800(税抜)

ウッドカッターズ セミヨン

セミヨンは、今から160年前にオーストラリアに最初に移住したヨーロッパ移民によって植樹されたパロッサの伝統品種の1つで、地中海性気候と丁寧な栽培により受け継がれてきた樹齢の古い低収量のセミヨンの畑は、パロッサの貴重な世襲財産です。パロッサのセミヨンは、主にマデイラ・クローンという果皮の厚い品種で、温暖なパロッサでも良質な酸を保持でき、熟成力の高い白ワインを生みます。南仏の白ワインを彷彿とさせる芳醇で旨味のある味わいは、パーカーを始め多くの人々を驚嘆させました。【※スクリーキャップ仕様】

■テクニカル情報■ 産地: パロッサヴァレー 品種: セミヨン100% (マデイラ・クローン) 植樹: 1891-1994年 (樹齢:)

【2020VT】Alc:13% pH:3.15 酸:5.68 g/L 収穫:2/12~2/21 醸造:除梗破碎せず房ごと压榨。区画ごとに個別醸造。24時間ダブルバージュし、樹齢の若い区画(約90%)は、澱引きしてステンレスタンクへ、樹齢の古い区画(約10%)はシーズニングしたフレンチオークのバリックへ移して5~6ヶ月低温発酵。瓶詰前にブレンド。サブ・リージョン: ローランドフラット&エベニーザー

★相性料理★ 酒齢の若いうちは刺身やフレッシュな貝類と相性が良く、数年間熟成させるとチキンやパスタなどと抜群の相性。

■コメント■ 淡いグリーンを帯びた外観。レモンやライムを思わせるフレッシュな柑橘系果実のアロマに花梨のマーマレードの香りがバランス良く香ります。味わいはきめ細やかな酸を持つミディアムボディで、カフィア・ライム(コブミカン)の葉やレモンの香りを伴う鮮やかでバランスの良い酸がスッキリとした後味を生みます。5~10年ほどの熟成が効く白ワインで、熟成が進むにつれてプリオッシュやレモンカード・タルトに似たフランスの焼き菓子やレモンバターを思わせる複雑な香りが発展してゆきます。



2020VT★ジェームズ・サックリング 91 点: とても香高いセミヨンで、涼しいヴィンテージに由来するシトラスの花や仄かにワックスのニュアンスが感じられる。口に含むとしっかりと質感があり、美しい酸味と躍動感のある果実味が広がる。生き生きとした酸味を湛え、核果(桃やプラムなど)を思わせる風味を持つ。《飲み頃:2020年~ | 2020/9/11 掲載》 他誌評価)★パーカーポイント 88 点

Dry Red Wines グルナッシュ・ベース

2018 GMS (Grenache / Mourvedre / Shiraz)

上代価格 ¥3,100(税抜)

ジー エム エス(グルナッシュ ムールヴェードル シラズ)

JANコード: 4543190603386

起伏の多い赤土の大地が広がるパロッサ北西部の畑から収穫するグルナッシュ、シラズ、ムールヴェードルは、パロッサならではの円熟した濃厚な果実味が特徴で、グルナッシュ由来の赤果実の浮き立つようなアロマに、ムールヴェードルの旨味のあるアロマがバランス良く感じられます。シルキーな口当たりと柔らかく熟れたタンニンは、ローズワインを彷彿とさせます。【※スクリーキャップ仕様】

■テクニカル情報■ 産地: パロッサ・ヴァレー (サブリージョン: マラナンガ、ゴメルサル、エベニーザー) 樹齢: 50-80年

醸造: よくシーズニングしたフレンチオークのホッグスヘッド(容量230L)で24か月熟成。

品種: グルナッシュ59%、ムールヴェードル22%、シラズ19% pH:3.54 酸:5.77g/L 収穫時期:3/27-4/18 Alc:15%

★相性料理★ ラム肉やジビエなどと抜群の相性を持つワインです。

■コメント■ 外観は、深紅の赤。チェリーやザクロ、赤スグリのアロマに旨味のある肉や濡れた大地の香りが感じられます。味わいは、ミディアムボディで、柔らかなタンニンと伸びのある酸を湛え、円やかな赤い果実の風味を核とする余韻の長い後味が広がります。



2019・2020 Cuvee Juveniles

キュヴェ ジュヴナイルス

2021 Cuvee Juveniles

キュヴェ ジュヴナイルス

上代価格 ¥3,800(税抜)

JANコード: 4543190603027

上代価格 ¥4,000(税抜)

パリのジュヴナイルズという有名なワインバーのために造られたワインです。一次発酵が終わるまでステディングと同じ醸造工程を踏み、その後は、ステンレスタンクで熟成させています。生産量は、当初ステディングの1割程度でしたが、人気が増え需要が増えたため、今ではステディングと半々の割合で作られます。樽熟成を経ないピュアで太みのある果実味が特徴。【※スクリーキャップ仕様】

■テクニカル情報■ 産地:バロッサ・ヴァレー(ゴメルサル、セッペルツフィールド、マランガ、モッパ、グリーノック、エベニーザー) 醸造:樽は不使用。区画・品質ごとにステンレスタンクで発酵させた後ブレンドし、マロラクティック発酵&熟成。

樹齢:40-150年

【2019VT】品種:グルナッシュ 72%、ムールヴェードル 23%、シラーズ 5% Alc:15% pH:3.53 酸:5.21g/L 収穫:3/3~4/12

【2021VT】品種:グルナッシュ、ムールヴェードル、クノワーズ、カリニャン、シラーズ

■コメント■ 樹齢の高いグルナッシュ由来の花やワイルドチェリー、ラズベリー、ザクロなどのジューシーな赤い果実のアロマが香り立つ。心地よいテクスチャーと長めの酸が風味豊かなムールヴェードルと大胆な果実味を湛えたシラーズがもたらすフレッシュさと絶妙に調和し、口中に広がっていきます。16℃以下で、スパイシーな料理をはじめとした様々な料理とお楽しみください。



2019VT★ワインスペクテーター92点:芳醇なアロマを纏った肉付きのよい豊満な味わいで、熟したチェリー、クランベリー、ラズベリーの快活な果実味に抹茶やスパイス、ドライラベンダーのニュアンスが広がり、長い余韻が続く。《飲み頃:2021-2035年 | 2021/11/30》

2019VT 他誌評価:★パーカーポイント89点 ★ジェームズ・サックリング91点 ★ワインエンソーシアスト91点

★ジャンシス・ロビンソン16.5/20点

2021VT★パーカーポイント90点:グルナッシュ、ムールヴェードル、カリニャン、クノワーズ、シラーズをブレンドして造られたこのワインは、生き生きとした酸やジューシーな果実味を湛えた軽やかなスタイルが特徴。シリアスさは無いものの、活力を湛えた果実味が印象的。《飲み頃:2022 - 2028年 | 2022/7/30 掲載》

2018・2019 The Steading

ザ ステディング

上代価格 ¥6,600(税抜)

JANコード: 4543190602785(2018VT)

スコットランドでは、農場の納屋、家畜小屋、離れの建物を総称し「ステディング」と呼びます。バロッサのグルナッシュ、マトロ、シラーズも各々に独自の個性を備えた品種でありながら3品種をブレンドすることで大地の香りとしっかりとした骨格を備えた複雑なワインを生み出します。シャトーヌフ・デュ・パプの影響を色濃く反映したしなやかな味わいと絹のような質感を湛え、様々な料理に良く合います。

■テクニカル情報■ 産地:バロッサ・ヴァレー(サブリージョン:ゴメルサル、リンドック、グリーノック、マランガ、モッパ、セッペルツフィールド、エベニーザー) 樹齢:40-150年の複数区画 醸造:澱引きして4500Lのフレンチオークの大型フールドで細かな澱と共に20カ月熟成。樽熟成中に自然にマロラクティック発酵。

【2018VT】品種:グルナッシュ 53%、シラーズ 28%、ムールヴェードル 19% Alc:15% pH:3.61 酸:5.43g/L 収穫:3/29~4/11

【2019VT】品種:グルナッシュ 60%、シラーズ 21%、ムールヴェードル 19% Alc:15% pH:3.54 酸:5.50g/L 収穫:3/14~4/17

■2018VT コメント■ 香り豊かでピュアな果実味を湛え、濃厚なミッドパレットと旨味のあるタンニンが特徴的。スマレの花やスターアニス、スパイスのニュアンスが香る鮮やかなアロマがほどこけるように開いてゆき、重量感のある美しい果実味がゆっくりと姿を露わにします。味わいは、ミディアムボディで、シルキーでしなやかな黒果実、黒いオリーブ、旨味のある大地の香り、甘草、アジアンスパイイスの風味が口内を満たします。複雑味のあるエレガントな味わいにバランスの良い酸としなやかでシルキーなタンニンがしっかりと溶け込んでいます。セラーで寝かせれば10年は熟成の効くワインです。

2018VT★パーカーポイント92点:円熟した丸みのあるしなやかな味わいを持つこのワインは、大樽で熟成されているので、オークの特徴はほんの少ししか感じられない。チェリーやベリー豊かなアロマが溶け合い、仄かにキャラメルやドライハーブ、エスプレッソ、ブラックオリーブなどの風味豊かなニュアンスが広がる。ミディアムからフルボディのソフトで飲みやすい味わいだが、しっかりと凝縮感があるため数年先まで美味しく味わえるだろう。《飲み頃:2021-2026年 | 2021/7/1 掲載》 他誌評価):★ワインエンソーシアスト92点

■2019VT コメント■トルブレック・チームの中でも人気の高いワインで、芳醇なアロマに加えてピュアな果実味、凝縮感を湛えたミッドパレット、心地よいタンニンが特徴です。レッド・カラント、チェリー、ザクロ、スマレ、ブラックオリーブ、スターアニス、甘草、アジアンスパイイス、心地良い大地を思わせるエレガントで複雑な風味が広がります。酸とシルキーなタンニンが完璧な調和を見せる10年先まで長期熟成の効くワインです。

2019VT★パーカーポイント92点:ミックスベリーやチェリーの控えめなアロマに心地よいハーブのニュアンスが溶け合う。ミディアムからフルボディの味わいで、2018年ほどの円熟感やリッチさは無いものの、エレガントさや複雑さが増し、ハーブの風味とともにシルキーで滑らかなテクスチャーが感じられる。柔らかなタンニンが長い後味を生む《飲み頃:2021 - 2028年 | 2021/7/1 掲載》

2019VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター93点 ★ジェームズ・サックリング93点 ★ジャンシス・ロビンソン16/20点



2017 Hillside Vineyard Grenache

上代価格 ¥9,000(税抜)

ヒルサイド・ヴァンヤード・グルナッシュ

JANコード:4543190603300

トルブレックがバロッサヴァレーに所有する畑の中で最も南に位置するヒルサイド・ヴァンヤードは、1949年に植樹された歴史ある畑で、西向きの緩やかな傾斜と頁岩、珪岩、鉄鉱石が混合する赤黒い粘土質土壌に乾地農法で育つ株栽培のグルナッシュは、非常に低収量で、凝縮感のある鮮やかな果実味と浮き立つようなアロマを持つ卓越したワインを生みます。発酵にホールバンチ果汁を使用することで繊細で滑らかなタンニンを引き出し、フレンチオークのフードルで樽発酵させることでバランスの良いワインに仕上げています。

■テクニカル情報■ 産地:バロッサ・ヴァレー南部(サブリージョン:リンドック) 品種:グルナッシュ100% 植樹:1949年(2002年より、トルブレックが所有) 収穫:4/26 土壌:赤黒い粘土に頁岩や珪岩、鉄鉱石などがところどころ混合 Alc:15% pH:3.55 酸:6.8g/L 醸造:ホールバンチ果汁を使用し、容量2400Lのフレンチオーク製のブーツ社のフードル(2年物)で樽発酵させ、15ヶ月木樽熟成。

■コメント■ 外観は、中心に深い紫色を湛えた深紅色。甘草やアニシード、ザクロやブラックベリーなどの深い赤や黒い果実のアロマに仄かな大地やクローブのニュアンスが香る。ピロードのように贅沢な口当たりを持つ円やかなミディアムからフルボディで、しっかりと引き締まった握力のあるタンニンが感じられる。7~8年ほどの熟成が効く。

★パーカーポイント 92点:バラの花びらや紅茶、苺を思わせるエキゾチックなアロマが香り、空気に触れるにしたがって、ブラックチェリーのより深みのある香りが表れる。味わいはミディアムからフルボディで、リッチでキメの粗いテクスチャーと乾燥スパイスを詰めたポットポブリの香りが後味に感じられる。《飲み頃:2019-2025年 | 2019/11/28掲載》

他誌評価:★ワインスペクテーター94点 ★ジェームズ・サックリング95点 ★ワインエンスージアスト94点



2019 Les Amis

上代価格 ¥2,600(税抜)

レ・ザミ

レ・ザミとは、フランス語で「友人達」という意味で、「シンガポールに本格的なフランス料理をもたらす」という志を共にする4名の友人達が1994年に「レ・ザミ」という名のフレンチ・レストランをオープンしました。一流の食とワインに精通する創設者4名の知見と情熱により、レ・ザミのワイン・リストは瞬く間に世界的な注目を集め、1997年以来、レ・ザミのフラッグシップワインは、ワイン・スペクテーター誌のグランド・アワードの常連となりました。2001年、この名高いレストランより、フランス料理に合うシングル・ヴァンヤード・ワインを作って欲しいと特別に依頼を受けて生まれたのがこのワインです。

グリーンノックに育つ樹齢128年の古樹のグルナッシュを100%使用。凝縮感のある果実味、静謐なバランス、エレガントで洗練された味わいが見事に調和し、ユニークなテロワールの持ち味が余すところなく引き出されています。若いうちはエレガントで旨味のある味わいを湛え、熟成年を重ねるにつれて複雑味を増してゆく長期熟成タイプのワインです。

■テクニカル情報■ 産地:バロッサヴァレー(サブリージョン:グリーンノック) 品種:グルナッシュ100% アルコール:15% pH:3.45 酸:5.58g/L 収穫:3/27-4/10 醸造:除梗してセメントタンクに入れ、数日間マセラシオンさせた後、やさしくバスケットプレスし、新樽率40%のフレンチオークの樽で24ヶ月熟成。その後丁寧に澱引きし、暫くデレスタージュ(静置)した後、無濾過・無清澄で瓶詰め。

■コメント■ラズベリー、レッドチェリー、ザクロ、レッドカラントなどの赤系果実の芳醇なアロマに続いて、五香粉、サルサパリラ、スターアニス、カルダモン、クローブのニュアンスが湿った土やシナモンスパイスと見事な調和を見せます。口中を覆う果実の質感と深みが印象的なリッチで贅沢な味わいで、後味にクリーンな酸が広がります。グルナッシュ古樹がもたらす複雑味としっかりとしたタンニンを備えたフルボディで8-15年の熟成が効きます。ジビエ肉やシャルキュトリーと抜群の相性。

★パーカーポイント 95点:2019年レザミ・グルナッシュは、他のトルブレックのグルナッシュとは全くの別物だ。樹脂系のニュアンスを帯びた心地よい香りを持つ。古い大樽で熟成させるハリスやヒルサイドのグルナッシュと異なり、バリック(新樽率40%)で熟成させることでトーストや木炭を思わせるオークの特徴が後味にしっかりと表れている。マスタードシード、甘草の根、アリゼ(ラズベリー、ジンジャー、ブラックチェリーを成分とする)、加工肉、シガーボックス、タバコの葉のニュアンスも感じられる。このワインは、重量感や深みを備えた逞しく複雑な味わいが特徴。《飲み頃:2022-2037年 | 2022/7/30掲載》



Dry Red Wines シラーズ・ベース

2020 Woodcutter's Shiraz

上代価格 ¥3,600(税抜)

ウッドカッターズ シラーズ

JANコード:4543190602761

2021 Woodcutter's Shiraz

上代価格 ¥4,000(税抜)

ウッドカッターズ シラーズ

バロッサの畑で育つ比較的樹齢の若いシラーズから採れたトルブレックのワイン・シリーズを堪能するのにまたとないエントリーワイン。酒齢の若いうちから楽しめますが、数年のセラー熟成を経て更に印象深い味わいへと着実に進化をとげてゆくワインです。

■テクニカル情報■ 産地:バロッサ 品種:シラーズ100% 樹齢:10-20年 醸造:バスケットプレスでやさしく圧搾し、シーズニングしたフレンチオークのホッグズヘッドとフードルで12ヶ月熟成。無濾過・無清澄で瓶詰。 サブリージョン:マランガ、グリーンノック、セップルツフィールド、ゴメルサル、モッパ、リンドック、エペニーザー

【2020VT】Alc:15% pH:3.56 酸:6.3g/L 収穫:3/2-4/3

【2021VT】Alc:15% pH:3.60 酸:5.76g/L 収穫:2/25-4/18

■2020VT コメント■ 香り豊かなプラムやブラックチェリーにダークチョコレートのニュアンスが感じられる濃厚かつ洗練されたアロマ。バランスの取れた味わいで、黒系、青系果実のまろやかな果実味があり、複雑味のあるミッドパレットへ続きます。酒齢が若いうちから美味しく味わえますが、数年寝かせるると印象的な味わいへと発展していきます。

2020VT★ワインスペクテーター89点:コクのあるジューシーな味わいで、ワイルドベリー、スパイシーなプラム、チャイの風味とともにセージ、カルダモン、リコリスのニュアンスが感じられる。親しみやすく、スパイスを伴うフィニッシュが印象的。《2021/12/31掲載》



担当: @millesimes.co.jp 株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

Millésimes

■2021VT コメント■ レッドチェリー、ラズベリーソース、ブルーベリージャム、ワイルドブラックベリー、ブラックカレント等の赤系、黒系、青系果実のアロマが浮き立つような香りにカルダモン、スターアニス、五香粉を思わせるスパイシーなニュアンスが香ります。柔らかく優しいタンニンとともにシラー由来のふくよかな果実味が官能的な味わいをもたらします。ストラクチャーのあるしっかりとした味わいをベースにバランスの良い果実味とスパイシーさを備えたこのワインは、5～10年熟成が効きます。

2021VT★パーカーポイント 91点: トルブレックのラインナップの中でも信頼のおけるワイン(ステディングの美しさには負けるが)であり、ウッドカッターズは、時と共に引き締まったスタイルへと変化を遂げている。10年程前に初めてこのワインを紹介した際は、期待しうるパロッサの特徴を全て備えたふっくらとしたフルボディであった。最近、いや特に今日試飲した2021年ウッドカッターズ・シラーズは、タイトで緊張感があり、暗く深みのある果実味をしっかりとタンニンが包み込んでいる。オークの香りはほとんど感じられず、タンニンが果実味を引き出している。秀逸なワイン。

◀飲み頃:2022-2032年 | 2022/9/16掲載▶

2019 The Struie

ザ・ストルイ

上代価格 ¥8,000(税抜)

JANコード:4543190603034

2020 The Struie

ザ・ストルイ

上代価格 ¥8,300(税抜)

標高400～500メートルの高地に広がるイーデン・ヴァレーは、パロッサ・ヴァレーと比べると200～300メートル程の標高差があり、この標高の高さと1～2週間ほど遅い収穫パターンにより、低いpH値と高い酸を特徴とするエレガントで引き締まったストラクチャーを持つシラーズを生みます。ストルイは、パロッサ・ヴァレー特有の力強く濃厚な果実味とイーデン・ヴァレーのエレガンスが見事に融合した味わいが特徴です。

■テクニカル情報■ 産地:パロッサ(サブリージョン:パロッサヴァレー/イーデン・ヴァレー) 品種:シラーズ100% 樹齢:50年 醸造:乾地農法で育った樹齢の古い古樹から丹念に手摘みで選定したブドウを収穫区画ごとに新樽(20%)とシーズニングしたフレンチオークの樽で20カ月熟成させた後ブレンド。

【2019VT】 Alc:15% pH:3.61 酸:5.87g/L ブレンド比率:パロッサヴァレー92%、イーデン・ヴァレー8% 収穫時期:3/2-4/3

【2020VT】 Alc:15% pH:3.56 酸:5.84g/L ブレンド比率:パロッサヴァレー80%、イーデン・ヴァレー20% 収穫時期:3/3-4/2

■2019VT コメント■ 外観は深みのある紫色。素晴らしく香り豊かなワインで、プラムや黒系果実、黒鉛、ミネラルを思わせる濃厚なアロマがあります。味わいは、濃厚で、重層的に広がるダークチョコレートの風味とともにプラムやブラックベリー、ブルーベリー、スミレ、スパイスのニュアンスが果実の味わいに更なるエレガンスとハリを添え、長い余韻を生み出しています。柔らかさを備えながらもしっかりと目の詰まったタンニンが、長期熟成に耐えうる力強い骨格と凝縮感のある果実味をもたらしています。15～20年は熟成の効くワインです。



2019VT★パーカーポイント 94点:新樽率20%のフレンチオーク樽で20ヶ月間の熟成を経たこのワインは、非常に深い色合いを呈し、鉛筆の削りかすやブルーベリー、ベーキングスパイスのアロマを持つ。2019年は、印象的だった2018年よりもさらに力強いフルボディの味わいで、初めから終わりまで一貫してしなやかさと滑らかさが感じられる。甘草とあたたかみのあるニュアンスが円熟した味わいを際立たせている。

◀飲み頃:2021-2035年 | 2021/7/1掲載▶ 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92点★ジェームズ・サックリング92点

★ワインエンスージアスト94点 ★ジャンシス・ロビンソン16.5/20点

■2020VT コメント■ ブラックベリー、ブルーベリーのコンポート等の黒系、青系果実やミルクチョコレートの浮き立つようなアロマにイーデン・ヴァレーの土壌(花崗岩と片岩)由来の黒鉛とミネラルを連想させる複雑なニュアンスを持つ、力強さと若々しさを兼備した風味が特徴です。フルボディで、シルクのように滑らかな質感とともに豊かな果実味が広がり、熟した柔らかいタンニンが口中を包み込みます。フルボディでありながらソフトな口当たりで、樽香はほとんど感じられません。ステーキフリット、バーベキューリブ、チャーシューと抜群の相性です。リリース直後から美味しく味わえますが、2024年～2035年までがより良い状態でお楽しみいただけます。

2020VT★パーカーポイント 95点:パロッサで最も力強いヴァインテージと言えば、2020年になるだろう。温暖で2年連続早魃の影響を受け、収量が70%も減少した地域があった。グラスに注がれた2020年ザ・ストルイのインキーブラックの外観を見れば、納得がいく。シガーボックス、タバコの葉、ブラックベリー、マルベリー、塩漬けのリコリスのアロマがあり、高密度のタンニンを湛えている。口に含むと、ピロードのように滑らかでふっくらとした質感があるが、果実味を引き出すにはタンニンを空気に触れさせる必要がある。デキヤタしないと、このワインが持つ最大の魅力を見逃してしまうかもしれない。このようなワインがパロッサ(さらにはオーストラリア)の知名度を高めてきたと言えるだろう。力強く大胆で、筋肉質なスタイルに細やかなニュアンスやディテールが表現された秀逸なワイン。◀飲み頃:2022-2037年 | 2022/9/16掲載▶

2020VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター92点

2015・2019 Descendant

ディセendant

上代価格 ¥18,000(税抜)

JANコード:4543190603225(2015VT)

ディセendant(末裔)と名付けられたこのワインは、ラン・リグの畑に育つ古樹の切り苗を植樹し、ラン・リグのブレンド用に圧搾したヴィオニエの果皮を利用、更に前年にラン・リグの熟成に使われた樽を使用して作る、正にラン・リグの「末裔」とも言えるワインです。

■テクニカル情報■ 産地:パロッサヴァレー(サブリージョン:マランガ) 植樹:ランリグの畑の切り苗を1994年に植樹 醸造:ラン・リグのブレンド用に圧搾したヴィオニエの果皮の上でシラーズを破碎・搾汁し7～10日間発酵させた後、ラン・リグの熟成に使われた2年物の樽で18～20カ月熟成。

【2015VT】 品種:シラーズ92%、ヴィオニエ8% Alc:15% pH:3.65 酸:5.96g/L 収穫日:3/26

【2019VT】 品種:シラーズ93%、ヴィオニエ7% Alc:15% pH:3.64 酸:5.68/L 収穫日:3/15

■2015VT コメント■ 濃厚で香り豊かな果実味に、ラヴェンダーやスパイスの風味が幾層にも層を成して感じられます。ダークチェリーやブルーベリーを思わせる重厚な果実味が白桃やスパイス、シナモンの仄かなニュアンスと共に美しく溶け合い、見事な一体感を見せます。素晴らしく凝縮感のあるフルボディで、柔らかくしなやかなタンニンを湛えた滑らかな口当たり。見事なバランスと熟成力を備えており、少なくとも5年間のセラー熟成を経ることでその真価を発揮します。15年以上は熟成の効く長期熟成型のワインです。



2015VT★パーカーポイント 93点:2015年のディセendantはフルボディで、黒いベリー系果実やプラムを思わせる果実味に、焦げ付いた大地の香り、ブラック・オリーブ、炙った肉の香りが層を成すようにして現れる。芳醇で凝縮感のある重厚な味わいがグラスの中でゆっくりと発展してゆき、仄かなリコリスや胡椒のニュアンスが香る硬質でしっかりとした後味を生む。◀飲み頃:2020-2030年 | 2018/3/30掲載▶

2015VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター89点★ジェームズ・サックリング95点 ★ワインエンスージアスト92点

担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

Millésimes

■2019VT コメント■ ダークチェリーやブルーベリーのような新鮮な黒系、青系果実の浮き立つような心地よいアロマにスターアニス、クローブ、シナモン等のスパイスのニュアンスが重層的に香ります。素晴らしく凝縮感のあるフルボディで、堅牢さとしなやかさ備えたタンニンがあり、見事な一体感を見せます。見事なバランスと熟成力を備えており、少なくとも5年間のセラー熟成を経ることでその真価を発揮します。15年以上は熟成の効く長期熟成型のワインです。北京ダック、ムサカ、ローストグース等のジビエと抜群の相性。

2019VT★パーカーポイント97+ 点: バロッサでは、温暖だった2018年に続き、2019年は低収量で凝縮感のある果実が出来た。2020年はさらに収量が減り、結果的に濃厚で暗く深みのあるヴィンテージが3つ揃うこととなった。2019年のデサンダンの発酵にはランリグ・ヴィンヤードの挿し木から育ったヴィオニエの果皮が通常2%程度使用されている。言うなればベイビー・ランリグのような存在である。シルキーで滑らかな質感、力強いタンニンと凝縮感を備えた味わいに生き生きとしたラズベリー、ジャズミンティー、レッドリコリス、ゼリーグミ、加工肉の重層的な風味が広がる。一般的にトルブレックの赤ワインは、ピロードのような滑らかさと濃密さを兼備し、包み込むようなテクスチャーを持つ。このワインは熟成向きだが、早く飲みたい場合は、デキャンタージュをお勧めしたい。《飲み頃:2022 - 2037年 | 2022/9/16 掲載》

2015 The Factor

上代価格 ¥16,500(税抜)

2018・2019 The Factor

上代価格 ¥18,000(税抜)

ザ・ファクター

JANコード:4543190603232(2015VT),4543190603430(2018VT)

2015VTがジェームズ・サックリングが選ぶ2018年オーストラリア・ワイントップ100選出!(スコア:97点 / 順位:15位)

スコットランド高地の土地管理者を、「ファクター」と呼びます。ザ・ファクターは、バロッサの古樹とその栽培に心血を注ぐ作り手達へのオマージュです。ストウリイの華やかさやエレガンスとは対照的に、男性的な力強さとダークチョコレートの風味が特徴です。

■テクニカル情報■ 産地:バロッサヴァレー(サブリージョン:ゴメルサル、クロンドルフ、マランガ) 品種:シラズ100% 醸造:新樽率40%のフレンチオークの樽で2年熟成させた後ブレンドし、無ろ過・無清澄で瓶詰。古樹はタンニンが強いため、新樽率を上げることでバランスをとっています。

【2015VT】Alc:15% pH:3.68 酸:6.56g/L 収穫:2/17~3/30 【2018VT】Alc:15% pH:3.60 酸:5.97g/L 収穫:3/15~4/4

【2019VT】Alc:15% pH:3.54 酸:5.79g/L 収穫:3/6~3/19

■2015・2018 コメント■ 主にバロッサのゴメルサルとマランガで収穫されたシラズを使用。重厚なテクスチャー、芳醇な味わい、仄かなオリブ・タプナード、サドル・レザー、ミネラルの香りが特徴的です。円熟したプラムや野生のブラックベリー、ブラックチョコレート、スパイスを思わせるアロマとエスプレッソ・ローストと熟れたブラックベリー、ハマアカザの香りを核とする暗く深みのあるニュアンスが溶け合います。どっしりとした重厚で凝縮感のある味わいを湛えた贅沢なワイン。幾年にもわたる長期熟成が効き、魅惑的で芳醇な果実味がゆっくりと発展してゆきます。



2015VT★パーカーポイント96点:ザ・ファクターの2015年を持つフローラルで旨味のある複雑なアロマは、飲む者を病みつきにさせる。主に樽齢の古いオークで熟成させたシラズ100%のワインで、スマレの花、ヒッコリーの燻製香、ミント、ブルーベリー、モカの香りが特徴的だ。フルボディだがしっかりと骨格を備え、引き締まったタンニンと酸がシャープな切れ味と余韻の長い後味を添える。今すでに飲みやすい味わいだが、10年以上は熟成が効く。《飲み頃:2020-2035年 | 2018/3/30 掲載》

2015VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター95点 ★ジェームズ・サックリング97点 ★ワインエンスーリアスト95点

2018VT★パーカーポイント96点:凝縮感としっかりとしたストラクチャーを備えたシラズで、20年は熟成が効くだろう。ヒマラヤ杉の削り粉やバニラのアロマが香り立つ。フルボディの味わいで、熟したブラックベリーやマルベリーの風味に加えてベーキングスパイスのニュアンスが広がっていく。複雑さと堅牢さを兼備し、焦点の定まった長い後味を持つ長期熟成タイプのこのワインは、あと5年程で最高の状態に達するだろう。

《飲み頃:2025-2040年 | 2021/7/1 掲載》 2018VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター94点 ★ジェームズ・サックリング98点

★ワインエンスーリアスト95点 ★ジャンシス・ロビンソン17/20点

■2019 コメント■プラムやブラックベリーなどの黒系果実、コンポート、バニラビーンズ、ダークココア、マラスキーノリキュールを思わせる芳醇で複雑なアロマが香ります。濃密なタンニンと粘性を帯びた艶やかなテクスチャーが優しく口中を包み込みます。コクと深みのある味わいにクリーンな酸が広がります。バランスの良い樽香が、リリース時にはさらに複雑さを帯びていきます。2024-2040年が飲み頃です。デキャンタしてお楽しみください。

2019VT★ワイン・スペクテーター93点:ふくよかな風味を持つワインで、ワイルドブラックベリーやハックルベリーを主体としたアロマにミルクチョコレート、キャラメル、パロサント、タバコ、セージ、レッドリコリスのニュアンスが漂う。複雑さと力強さを兼備し、ピロードのように滑らかな質感と凝縮感を湛えた後味が長く続く。2035年頃まで美味しく味わえる。

2019VT★パーカーポイント96点:これぞバロッサの真骨頂である。2019年のザ・ファクターは、ポートのように凝縮感のある心地よい風味を持ち、焦がした樽、羊の脂身、ブラックペッパー、塩漬けのリコリス、ザクロ糖蜜、アニスシード等のアロマを持つ。非常にパワフルかつ大胆で、全く新しいレベルの濃密さと強度を備えている(ヴィンテージ、生産地域、生産者を考慮すると驚くことではないが...)。途方もない力強さを持つワインで、奈落の底を覗き込んでしまうような一抹の不安を抱きつつも、やはりその魅力には逆らえない。《飲み頃:2022 - 2037年 | 2022/9/16 掲載》

2015 Run Rig	【750ml】
2016 Run Rig	【750ml】
2018 Run Rig	【750ml】
2019 Run Rig	【750ml】

上代価格	*オープン価格(税抜)
上代価格	*オープン価格(税抜)
上代価格	*オープン価格(税抜)
上代価格	¥35,000(税抜)

ランリグ

JANコード: 4543190603249(2015), 4543190603294(2016), 4543190603393(2018)

■**テクニカル情報**■ 産地:パロッサヴァレー(サブリージョン:リンドック、ローランドフラット、グリーンロック、モッパ、エベニーザー、ライトパス) 平均樹齢:122年 平均収量:14hl/ha 醸造:6つの畑から収穫されたシラーズのブレンド。収穫区画ごとに優しく除梗して木製とコンクリート製の開放型発酵槽で6~7日間マセラシオン。バスケットプレスでやさしく圧搾し、新樽と2~3年物のフレンチオークのバリックで自然にマロラクティック発酵。細かな澱と共に30ヶ月熟成させ、瓶詰前にブレンド。

【2015VT】 品種:シラーズ98% ヴィオニエ2% 新樽率:50% Alc:15% pH:3.64 酸:6.35g/L 収穫:2/19-3/20

【2016VT】 品種:シラーズ98% ヴィオニエ2% 新樽率:50% Alc:15% pH:3.69 酸:6.04g/L 収穫:2/18-3/23

【2018VT】 品種:シラーズ98% ヴィオニエ2% 新樽率:50% Alc:15% pH:3.58 酸:6.11g/L 収穫:2/20-4/13

【2019VT】 品種:シラーズ98.5% ヴィオニエ1.5% 新樽率:50% Alc:15% pH:3.58 酸:5.79g/L 収穫:3/1-3/22



■**2015 コメント**■ 濃厚で浮き立つようなアロマを湛えた重厚なチェリー・プラムとダークチョコレートの風味が前面に引き立ち、桑の実を思わせる贅沢な果実味と五香粉の風味が広がります。シルキーで口当たり滑らかな味わいで、赤いチェリーを思わせる深みのある果実味に、クローブやリコリスの風味が甘みのあるスパイスとシナモンの仄かなニュアンスと共に溶け合います。多彩で重層的な果実の味わいがグラスの中で次第に発展してゆき、アニスや仄かな鉄鉱石のニュアンス、ブラックベリー、胡椒の香りを湛えた余韻の長い後味を生みます。シルキーな口当たりと香り豊かなアロマを湛えた2015年のラン・リグは、熟成を重ねれば重ねるほどに素晴らしい味わいが期待できる卓越したポテンシャルを備えています。

2015VT★パーカーポイント98点:パロッサのシラーズという文脈において、2015年ラン・リグの特徴とも言える価格は、実に驚くべきものだ。同年のグランジヤル・オブ・グレースよりも遥かに安価な価格となるに違いない。酒齢の若いうちから親しみやすく、グリル焼きにした果実を思わせる魅惑的なアロマに、ヴェルヴェットのように滑らかなタンニンを含んだ旨味と複雑味のある贅沢な味わい。凝縮感のあるフルボディであることは言うまでもなく、20~30年は熟成の効く長期熟成ポテンシャルを備え、リコリスの風味を帯びた余韻の長い後味がどこまでも続く。ピーター・リーマンズ・ワインからトルブレックに加わった醸造家のイアン・ホンゲルは、恐らくこのワインの醸造そのものには関わっていないものと思われるが、大傑作ともいえるこの秀逸なワインの最終ブレンドを手掛けたことに関しては、多大な賞賛を受けるに値する。

◀**飲み頃:2020~2035年 | 2018/3/30 掲載**▶

2015VT★ワインスペクテーター92点:ジュシーで生き生きとした活力に満ちた鮮やかな味わい。ハーブの香りを帯びたブラックベリーとプラム風味が味わいの核を成し、スパイシーな煙草やトマトの葉、ダークチョコレートの香りがどこまでも続く余韻の長い後味を生む。シラーズとヴィオニエのブレンド。生産量350ケース。◀**飲み頃:2018~2028年 | 2018/7/31 掲載**▶

2016VT■コメント■ 重厚なブルーベリーとブラックベリーの濃厚なアロマが浮き立つように香り、前面に引き出されたダークチョコレートの風味と共に桑の実やプラム、五香粉を思わせる華やかな香りが感じられる。ヴェルヴェットのように滑らかなテクスチャーを湛えた贅沢な味わいで、赤いチェリーやストーンフルーツ(固い核を持つ果実)、クローブの風味に仄かなダークチョコレートのニュアンスがしっかりと溶け込んでいる。複雑で重層的な構造を持つ味わいと果実の風味がグラスの中で次第に鉄鉱石やアニス、ブラックベリー、胡椒のニュアンスを帯びて発展してゆき、非常に余韻の長い後味を生む。重厚なテクスチャーを持つこのランリグは、辛抱強く熟成させることによって間違いなく大きな見返りが期待できる。(セラー熟成の効く期間:15~20年)

2016VT★パーカーポイント100点:シラーズ98%に瓶詰直前に仕込まれたヴィオニエ2%をブレンドさせた2016年のラン・リグは、完全なる最高傑作である。鉛筆の削りくずを思わせるエレガントな黒鉛の香りがブルーベリーやブラックベリーのアロマに心地よいアクセントを添え、驚くほど濃厚な果実の味わいが口内に染み渡るように広がる。ヴェルヴェットのように滑らかで贅沢な味わいのフルボディ。しっかりと骨格を持ち、果実味が前面に引き出されているが、後味は余韻が長く旨味があり、次第に仄かなモカや黒いオリーブのニュアンスを帯びてゆく。20年間は熟成の効くワインで、その間ずっと素晴らしい味わいが続くが(冷涼なセラーで容量の大きなボトルを保管すれば20年以上の熟成が可能)、もし私が幸運にもこのワインを1、2本手に入れることが出来たなら、最初の1本は10年程の熟成期間を置いて飲んでみるつもりだ。2019年6月にリリース予定。

◀**飲み頃:2019-2035年 | 2019/3/1 掲載**▶

■**2018 コメント**■ ブラックベリー、サツマプラム、ブラックチェリーなどの濃厚な黒系果実の複雑ではっきりとしたアロマにダークチョコレート、カカオ豆、リコリスの香りが彩を添えます。リッチな味わいで、ピロードを思わせる贅沢なテクスチャーに躍動感のある快活な果実味がくっきりと際立って感じられます。グラスの中で重層的な構造を持つ味わいが徐々に変化していき、継ぎ目のないドライなタンニンと口中に長く広がる酸が絶妙に調和し、美しい輪郭が露わになっていきます。長い余韻が特徴で30年以上熟成が効きます。

2018VT★パーカーポイント99点:今の時点では、少し空気に触れさせたほうがよい。グラスに入れてしばらく経つと、香りも味わいも実に見事な広がりを見せる。他の年と違って、グラスに注いですぐは、閉じ気味でスギのような香りがあるが、徐々に核果やブルーベリー、チェリー、パイ、ベーキングスパイスのニュアンスを帯びてゆく。味わいは凝縮感のあるフルボディで、リッチなテクスチャーとまるやかなタンニンがあり、ベルベットのような滑らかさとともに仄かなリコリスと黒系果実の風味が後味に感じられる。今飲んででも十分に美味しく味わえるが、セラーでさらに数年寝かせる価値がある。◀**飲み頃:2025-2040年 | 2021/7/1 掲載**▶

2018VT★ワインスペクテーター95点 ★ジェームズ・サックリン 98点 ★ジャンシス・ロビンソン 18点/20点

■**2019 コメント**■ ブラックベリーやプラム、ブラックチェリー、カシス、マルベリーなどの濃厚な黒系果実の浮き立つような複雑なアロマにダークチョコレート、カカオ豆、バニラポッド、スターアニス、トルコ菓子のニュアンスが香ります。ミネラル感とともにピロードのような滑らかな質感を伴うリッチな味わいです。重層感のある複雑な風味と果実味がグラスの中で発展してゆき、堅牢なタンニンが伸びやかな酸と調和し、継ぎ目のない質感と長い余韻をもたらします。2025-2045年まで熟成が効きます。

2019VT★パーカーポイント98点:このワインをなんと表現したらよいのか。暗く、濃厚でスパイシーさを備えた深みのある味わいは、万華鏡が織りなす渦模様を彷彿とさせ、渦巻くようなタンニンやふくよかな質感がどこまでも続く。この2019年ランリグのヴィオニエは、暖かく低収量であったヴィンテージの特徴をギュッと詰め込んだような味わいを持つ。ヴィオニエの弾けるような豊かな風味をシラーズが包み込む、並外れた複雑性とバランスを兼ね備えたワイン。ワイン全体を縁取る焦がしたようなオーク香があるが、次第に和らいでいく。期待を裏切らない傑出したワイン。このような大胆な特徴を持つワインには、なかなかお目にかかれない。◀**飲み頃:2022-2037年 | 2022/9/16 掲載**▶

担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

Millésimes

2019VT他誌評価:★ワイン・スペクテーター95点

2013・2015・2016 The Laird

ザ・レアート

JANコード: 4543190603256(2013)/4543190603324(2015)/4543190603362(2016)

上代価格 ¥80,000(税抜)

2017 The Laird

ザ・レアート

上代価格 ¥90,000(税抜)

2013VT:ジェームズ・サックリングが選ぶ 2018年オーストラリア・ワイントップ100選出!(97点) スコットランドの言葉で「レアート」とは、荘園領主を意味します。パロッサ・ヴァレーのマランガでマルコム・セペルト氏が所有するグデナンブレイという単一畑から収穫。この領主の依頼に応じてトルブレックがマルコム個人のためにワインを作り始めたのは2003年のことで、2005年からこの畑のブドウを買い上げてワインを作るようになりました。こうして生まれたザ・レアートは、「魔法の樽」として知られるトロンセの森でとれたドミニク・ローランの樽で3年熟成させ、初回ヴィンテージでパーカーポイント100点を獲得。今や最も高価なオーストラリアワインとして知られています。



■**テクニカル情報**■ 産地:パロッサヴァレー(マランガ地区のグデナンブレイ・ヴィンヤード) 品種:シラーズ 100% 植樹:1958年 土壌:石灰岩質土壌に赤粘土とローム層が連なる 醸造:ブドウは丁寧に除梗し、木樽とコンクリートの開放型発酵槽で日に2回モニタージュを施しながら6-7日間マセラシオン。その後バスケットプレスで8時間かけて丁寧に圧搾し、ステンレスタンクで一次発酵させた後、「魔法の樽」として知られるドミニク・ローランの新樽バリック(フレンチオーク)で一定の温度に保ちながら36ヶ月熟成。樽香と果実味が完全に一体となってから個々の樽をブレンドし、無濾過・無清澄で瓶詰め。リリース前に更に24ヶ月瓶内熟成。

【2013VT】 Alc:15% pH:3.54 酸:7.05g/L 収穫日:2/22

【2015VT】 Alc:15.5% pH:3.51 酸:6.48g/L 収穫日:2/19

【2016VT】 Alc:15.5% pH:3.61 酸:6.23g/L 収穫日:2/19

【2017VT】 Alc:15.5% pH:3.61 酸:5.96g/L 収穫日:4/3-4/18

■**2013 コメント**■ 濃厚で芳醇な黒果実の陶酔させるようなアロマに、ダークチョコレート、スパイス、肉の香りを湛えた熟成香が旨味のある切れ味を添えます。リキュールを思わせる贅沢で凝縮感のある味わいは、リコリスや円熟したブラックベリー、ダークプラム、ブラックチェリーの風味を湛え、フィニッシュに向かって次第にダークチョコレートやモカの風味へと発展し、仄かな燻製肉やスパイスのニュアンスが余韻に広がります。タイトに引き締まったタンニンと豊かな樽香を湛えた2013年は、2012年のリッチさとエレガンスを全て備えつつ、素晴らしい複雑味と細部までくっきりとした精細で緻密な味わいを兼ね備え、20年以上にわたって美しく進化を遂げてゆく卓越したワインです。

2013VT★パーカーポイント97点:否定しようのない圧倒的な力強さと濃厚な凝縮感。果実味が実に印象深く、贅沢なオークの風味にヴェルヴェットのように滑らかなテクスチャーを湛えている。焼きスパイスやリコリス、胡椒を思わせる複雑味のある香りが、クリスマスケーキのような贅沢な味わいに趣のあるニュアンスを添え、旨味のある後味がどこまでも続く。実に秀逸なワイン。◀**飲み頃:2020-2030年 | 2018/3/30 掲載**▶

■**2015 コメント**■ サツマプラムやブラックベリー、桑の実などを思わせる濃厚でリッチな黒果実の重厚なアロマが、ダークチョコレートやスパイス、セイボリーの香りが溶け合う複雑味のあるブーケと共に豊かに溢れます。味わいはリッチで濃縮感があり、リコリスや熟れたブラックベリー、ダークプラムやブラックチェリーのフレーバーが感じられ、次第にダークチョコレートやモカ、シナモン、スパイスの風味へと発展してゆきます。タイトに引き締まったタンニンと豊かなオークの香りがしっかりと感じられる2015年ヴィンテージは、従来のレアートが持つ贅沢さとエレガンスを表現しつつ、更なる複雑さ、緻密さ、傑出した長期熟成ポテンシャルを兼ね備え、間違いなく今後20~30年にわたってエレガントに熟成してゆくでしょう。

2015VT★パーカーポイント97点:トルブレックの2015年ザ・レアートは、クリスマス・スパイスや熟れたプラム、ヴァニラ、ヒッコリーのウッドスモークやメープルシロップの香りを持つ炸裂するようなアロマが香る。果実とオークの風味が豊かに満ちた大ぶりのワインで、ヴェルヴェットのような滑らかさを持つフルボディのリッチな味わい。後味は食後のデザートのように甘美で余韻が長く、焼いたココナッツやシナモン・シュトローゼルのニュアンスが仄かに香る。より旨味のあるレアートを味わいたければ開栓前に10年ほど寝かせると良い。◀**飲み頃:2020-2040年 | 2019/11/28 掲載**▶

■**2016 コメント**■ サツマプラム、ブラックベリー、桑の実を想起させる豊かな黒果実の力強く洗練されたアロマに加えて、カカオ豆とロースト・エスプレッソのニュアンスが感じられます。シナモンやリコリスのような魅力的なスパイスと湿った土、ユーカリの香りが溶け合い、ワインに複雑さを添えています。味わいはリッチで濃縮感があり、丸みのある柔らかいタンニンと包み込むような口当たりが特徴です。引き締まったタンニンと豊かなコクが感じられ、バランスの良い樽香と酸味が見事に調和し、長い余韻を生み出しています。今後30~50年に渡ってエレガントに熟成してゆくでしょう。

2016VT★パーカーポイント98点:長期間の樽熟成を経てリリースされたばかりのこのワインは、スモーク、杉、メントール、ベーキングスパイスのアロマを纏った樽香がしっかりと感じられる。桑の実やイタリア産のプラムを想起させる豊かな果実が広がり、仄かに甘さを感じる風味がブラックオリーブ、甘草、キャラメリゼした肉のニュアンスと調和し後味に広がる。瓶の中でもう数年寝かせると、樽のニュアンスと果実味が一体化し、より完璧で調和のとれたワインとなるであろう。◀**飲み頃:2023-2040年 | 2021/7/1 掲載**▶

他誌評価:2013VT★ジェームズ・サックリング 97点 ★ワインスペクテーター94点 2015VT★ジェームズ・サックリング 98点

2016VT★ジェームズ・サックリング 99点 ★ワインスペクテーター96点 ★ジャンシス・ロビンソン 17.5/20点

■**2017 コメント**■ マルベリー、ブラックベリー、レッドチェリー、カシスなどの黒系、赤系果実の豊かなアロマにタバコの葉、ガリグ、タール、ベイリーフ、バニラのさや、サルサパリラの根の心地よいニュアンスが感じられ、シナモンや甘草の魅力的なスパイス香を伴う複雑な風味が広がります。深みのある果実味を湛えたエレガントな味わいで、引き締まった堅牢なタンニンが果実味としっかりとストラクチャーを支え、素晴らしい調和を生み出しています。長期熟成向けのワインで、2025~2050年頃まで美味しく味わえます。ローストBBQ、ポーク、熟成チェダーチーズと良く合います。

2017VT★パーカーポイント97+点:キャンプファイヤーの炭、焦がしたユーカリ、羊の脂味、炒ったピーズ、紅茶のアロマに包み込まれる。口に含むと、果実、オーク、タンニンの間に隙間は無く、全てが密に結び付き、渾然一体となった味わいが広がる。非常に力強く大胆で、凝縮感を湛えたこの秀逸なワインが必要としているのは、新鮮な空気と良い仲間のみである。非常に濃厚な味わいで、現時点では、このワインの持つ奥深さをまだ知ることができない。◀**飲み頃:2022-2042年 | 2022/9/16 掲載**▶